# ふりむかないで 一奈良県・大和高田市一

とどく若菜よ えびすの朝を いのちの優しさ よりそう笑顔 のくちうじょう はったび かぜ 野口雨情も 初旅の風 つなぐぬくもり 高田の人

# ふりむかないで 一奈良県・大和郡山市一

つついじゅんけい ひでながこう 筒井順慶 秀長公に まも でんしゅ だい 思いをはせて 天守の台へ ほり はた いちりん はな お堀の端に 一輪の花 れきしおもかげ じょうか まち 歴史面影 城下の町

水面いろどる かわいい 姿 ひと 人にやすらぎ いやしのときを すくいあげれば こころときめく また行きたいな 金魚の町

 や た きゅうりょう
 しもつみち

 矢田の丘陵
 下ツ道ゆく

 広し ひがし
 ががや ひとみ

 西に東に
 輝く瞳

 ひび いとな
 あせ えがお

 日々の営み
 汗する笑顔

 かた つ
 げんきじょうかまち

 記り継ぎたい
 元気城下町

### ふりむかないで 一奈良県・天理市一

イチョウ並木に ちらつく実りが あなたの足を いそがせるのか きいる みち 黄色の道が 気にかかるのか みとれてしまうなあ 天理の秋

スポーツ盛んの 学生の町で すれ違って 目と目があった きだんすがた 普段姿の メダリストたち こえ 声かけできるさ 天理のまち

\*\*\*
売れているのか 儲かっているのか あちらこちらの 無人販売所 でれるをです。 かっといるです。 また行きたいな 山の辺の道

# ふりむかないで 一奈良県・橿原市一

ここで日本が はじまったのよと むぎわらぼうしの あの娘は言った はずかしがりやの 二人もきっと 程原 木漏れ日 神宮の人

はじめて都が 生まれたとき こだいのとは まほろばを観た 古代の人は まほろばを観た ひっこみじあんの 二人もいつか かしはら 藤原京の人

 えどの面影
 そのまま残し

 けだかい
 ララ

 気高い生きかた
 受け継いだ街

 想いをめぐらす
 二人だけれど

 かしはられる
 ウ井町の人

たまときんさん 大和三山 いにしえの里 こい ゆ 恋の行くえを 占うこころ \*\*\* おたりが出逢う 想いを馳せる 二人が出逢う かしはら いと 香具山の人

#### ふりむかないで 一奈良県・五條市一

五條にきたなら いってください 五條にきたなら いってください 新町通りの 素敵なまちを みんなで行きたい 五條の町を たまりすぎないで 観光の人

変 の う ばいりか 賀名生の梅林 ちらつく花びら あなたの足元 咲いてる福寿草 かき みの 秋になったら 柿が実る た 食べてほしいな 五條の柿

たなばた祭りで 見上げた星空 <sup>\*ルてル</sup> ひろ 満天に広がる 星の花 自然が残る やさしさも残る かってほしいな 宮の滝

# ふりむかないで 一奈良県・御所市一

朝焼け焦がす 葛城の麓

りとこと かみ せん みほとけ
一言の神 千の御仏
ここくみの まょみず めぐ
五穀実らす 清水の恵み
ゆうきゅう れきし かみがみ さと

## ふりむかないで 一奈良県・葛城市一

- ①春の牡丹を 衣にまとい うしろ姿の すてきなあなた つれてゆきたい 當麻の寺へ ふりむかないで 中将の姫

- (4) 高城山の 立つ雲のように 対す かに思う 万葉歌聖 言の調べは 現世に伝わる ささやきたいな 人麻呂よ
- ⑤去りの第 探し求めて

  ⑤去りの第 探し求めて

  一人淋しく 見つめるあなた

  鏡の池に 面影うつして

  祈っているわ 飯豊天皇

# ふりむかないで 一奈良県・宇陀市一

大和は東 君が故郷は カヤましずまる 神代の高原 深山鎮まる 神代の高原 たにま 谷間のすずらん 夏の鶯 まもいまこす すた 実でひと 思い起こすは 宇陀の艶人

かえで艶めく 宇陀恋しぐれ きぎり きゅう 君がたたずむ 戻しるぶ笑顔が 春風にとけて ここはふるさと うるわしの宇陀

### ふりむかないで 一奈良県・平群町一

西に信貴山 鳴川千光寺 たった かわべ き(ら) ほたる 竜田の川辺 桜に蛍 で 世 たの まほろばの里 みどりゆた なくり 緑豊かな いいとこ平群

## ふりむかないで 一奈良県・三郷町一

### ふりむかないで 一奈良県・曽爾村一

にり 鳥のさえずり 心に響く ※年月も 姿を変えて もり かく 森の恵みを ささやきかける 大地の力 屏風の岩

水のせせらぎ 爽やかな空 吹き抜ける風と さざめく穂波 落ちる夕日に 心奪われ 皇 にこうげん 皇 がきらめく 曽爾高原よ

## ふりむかないで 一奈良県・御杖村一

どこにあるのか 何があるのか 知られていない 奈良の東 知らんずくに 行かんといて いっぺんよって 全国の人

冬の山路に 凍てる霧氷が あなたの足を 運ばせるのか のほ みち きき ま 登った道の 先に待つのは はくぎん みね みうねやま 白銀の峰 三峰山

きま 通りすがりの 道の駅で すれちがい 目と目があった とことがえ 仕事帰りで 野菜をくれた こころ 心やさしい 御杖の人

### ふりむかないで 一奈良県・王寺町一

だる。\* であずい ほとけを学び はこ ひがってに出会い ほとけを学び 国づくり たいへんですが かっこころ 争いなくす 和の心 だる \* なん

飛鳥につづく 太子道は <sup>〈に おも</sup> 愛馬にのって 国を想い 愛馬にのって おともするのは 愛犬 雪丸 <sup>\*\*\*</sup> 思い出して 和のこころ

うまやどに生まれて 名前がつけられ おさわがせしてます 名前の事で き 決まりました 聖徳太子 たれないで 聖徳太子

# ふりむかないで 一奈良県・広陵町一

色とりどりの 花が咲く町 れきし 歴史ただよう 古墳のロマン 大にそびえる 百済の塔も ゆめさそ こうりょう ひと 夢誘う 広陵の人

様まぶしい ゆたかな心 できわたり かんがやさしい いい町づくり あなたとともに 広陵の人

### ふりむかないで 一奈良県・河合町一

き ひとみ き かとが かんだ瞳で いたずら好きの ひと 人なつこくって かわいいあなた うし がん ふしき ちから 牛のお面に 不思議な カ まる かわい ひと その名はすな丸 河合の人

# ふりむかないで 一奈良県・大淀町一

な 泣いているのか 笑っているのか 柔い多の すてきなあなた ついてゆけない あの人のあと がき 柿むかないで あなたは言うの

県民さえも 知らないけれど 梨の姿の すてきなあなた ほろり涙が 葉っぱをつたう さくらの影で あなたはいるの

### ふりむかないで 一奈良県・黒滝村一

## ふりむかないで 一奈良県・天川村一

②皐月の空に あなたのことを <sup>\*\*\*</sup> 思い浮かべて 弁財天に 五十鈴のひびきに 願いを込めて ひと目逢いたい 天川のひと

③水の流れに 釣り人たちが にま 今のわたしに 似ているかしら 見上げる青空 浮雲ひとつ ま 待っているのよ 天川のひと

④もみじ街道 たそがれ時に

 なおままま

 路に迷うは こころの迷い

 ひとりたたずむ 御手洗橋で

 ここまで来たわ 天川のひと

⑤高野すずかけ 不動の滝に わたしはなにを 問いかけるのか 叶わぬ恋と わかっていても 忘れないわ 天川のひと

#### ふりむかないで 一奈良県・川上村一

は かん か ま でんくう うえ 社 の上に また でんくう さと まか きらめく 天空の郷 けんりゅう もり 前 神 見守る 源流の森から いのちはぐく かわかみ みず 命 育む 川上の水

## ふりむかないで 一奈良県・東吉野村一

にほん ままかみ てんちゅう ぎし 二ホンオオカミ 天誅の義士が 思い眠らす 神聖の郷 見えてくるかも 聞こえてくるかも まる 歩いてみよう 東吉野を

#### ふりむかないで 一奈良県・奈良市一

たびひのかすがの ある あお 飛火野春日野 歩いて仰ぐ みかさ やま ひと 三笠の山を ながめた人を いま つた 今も伝える 都 のにぎわい ばんき なら まち きょうも元気だ 奈良の町

## ふりむかないで 一奈良県・桜井市一

 さくち うんかい 桜 の雲海
 あくのもんじゅいん 安倍文殊院

 とうい色ゆり
 大神神社

 はなてらせかりとういんとでも大神神社
 型 林寺で千両

 がには紅葉の
 談山神社

### ふりむかないで 一奈良県・山添村一

しぐ こめん けん たゆたう舟よ はるま さくら たいしょうじ 春待つ桜 大照寺 はな するに 大照寺 はな するにいかる 雪の花は やまぞえ ふゆ 布目の里の 山添の冬

## ふりむかないで 一奈良県・田原本町一

三種の神器の 八咫の鏡が
 映しだす 卑弥呼の姿
 古事記作者の 安万侶さんも
 会ってみたいな まほろばの人

ゆうぐの情報かまいの後閣夕暮れ景色の弥生の楼閣ぜんこくくつしたことが全国屈指の唐古・鍵つれてゆきたいあなたを共にしたもとたわらもと一度は来てね田原本

## ふりむかないで 一奈良県・高取町一

\*大和トウキの 畑が揺れる 薬猟から 置き薬まで いにしえからの くすりの舞台 くすりのまちは たかとりの計

高報節の 替むす城岩大和寛卡ろす 国見稿でかつての城郭 憩いを寄せて行ってみたいな たかとりの城

# ふりむかないで 一奈良県・下市町一

遊いているのか 笑っているのか 泣きぼくろが すてきなあなた 苦石橋を 渡ってあとを ついてゆきたい 下市の人

<sup>ひろはし うめ</sup> 広橋の梅に 降る雨が

あなたの足を いそがせるのか 実家のことが 気にかかるのか \* 待ってほしいな 歌舞伎の人

<sub>はついち</sub> 初市えびすの 本町で

な 泣いているのか 笑っているのか ぁきの かわべ 秋野の川辺で たたずむあなた ついてゆきたい あなたのあとを ふりむかないで ごんたくん

### ふりむかないで 一奈良県・野迫川村一

ロマン漂う 歴史の里で 歴史の里で <u>まなっ</u> 真夏の夜に 花火があがる ゆかた姿の あなたとともに ばなば がた 野泊川の人

 \*\*\*\*\*
 こうゃっし

 \*\*\*
 高野辻の

 \*\*\*
 \*\*\*

 \*\*\*
 雲の海で

 \*\*\*
 後ろ姿

 \*\*
 野迫川の人

 ゆういしず
 つるいめこうえん

 夕陽沈む
 鶴姫公園

 カ上げてみれば
 無数の星空

 てんと響く
 鐘の音を

 いっしょ
 あせがわりと

 一緒に聞いたな
 野迫川の人

# ふりむかないで 一奈良県・下北山村一

さくらなみき みちびくさき 桜 並木が 導く先に 美う人々 笑顔こぼれる 舞い散る花びら 歩道を染めて 幸やぐ下北 きなりの郷へ

などのかがやく おおみね やま 緑 輝く 大峰の山 森の恵みよ 七重の滝 まよい流れに あまごの姿 きらめく下北 きなりの郷へ

木々の彩り 水面に映える 祭りのにぎわい 実りの秋 登みわたる星空 冬の足音 寄り添う下北 きなりの郷へ